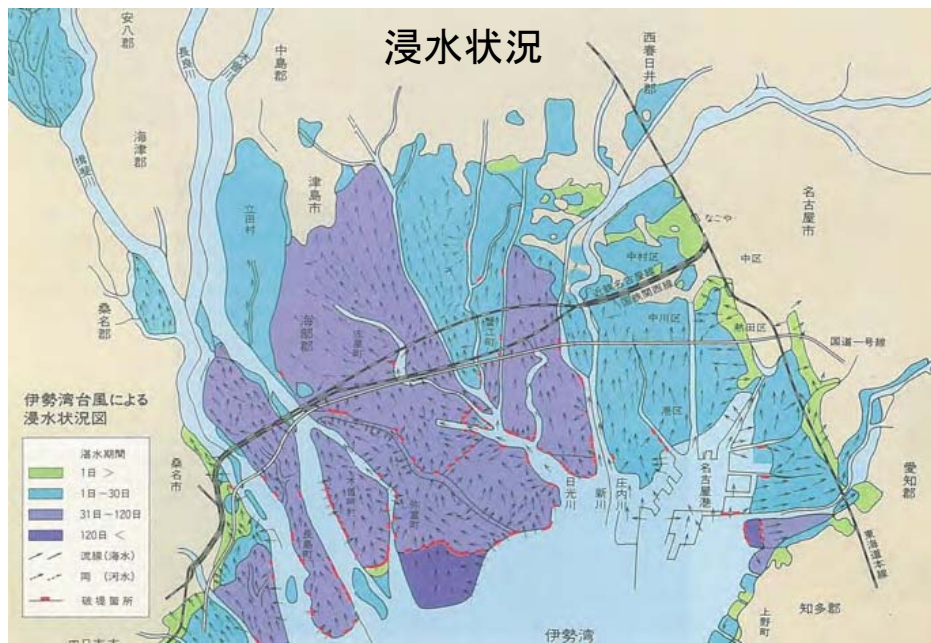


昭和34年

伊勢湾台風(台風15号)

○昭和34年の伊勢湾台風は、超大型台風のまま東海地方の西を通ったために東海地方は暴風雨となった。

○台風が中心が通過する前2～3時間は、時間雨量40～70mmの激しい雨が各所で降り、河川の水位が急激に増加し、併せて高潮により、庄内川及び新川はえっ波により13箇所で堤防が決壊し、水徳町、南陽町が浸水し多数の人名が失われた。



新川右岸(港区南陽町 セツ島) 浸水状況



新川右岸(港区南陽町 セツ島) 浸水状況



出典:三河・尾張川の流れと歴史のあゆみ P10 図1-4

被害 県別	死者 (人)	行方 不明 (人)	負傷者 (人)	被災 世帯数 (世帯)	住 家 (戸)		
					流 失	全・半壊	浸 水
愛 知 県 (名古屋市)	3,168 (1,851)	92 (58)	59,045 (40,528)	173,786 (128,808)	3,194 (1,557)	120,383 (49,415)	116,391 (67,352)
三 重 県	1,246	27	4,625	67,411	12,192	5,208	79,865
岐 阜 県	86	18	1,708	15,912	113	16,251	10,915
計	4,500	137	65,378	257,109	15,499	141,842	107,171

出典: 20年記念 庄内川 P156 表-4

出典:伊勢湾台風災害復興誌